

6. 人間機械系に関する研究

—日本人の手の大きさについて (1) —

奈良女子大 花岡 利昌
○梁瀬 度子
辻本 幸子

1. 最近、人間と機械器具との関係を、一つの系統として取り扱う人間工学的研究が、行なわれる様になってきた。作業に於ては、機械器具の接手面が労働能率の上に非常に重要な問題となっている。然るにこれらの研究は家政学の面では緒についたばかりである。

そこで我々は、この問題を取りあげ、接手面に関する諸因子について検討する事にした。

先ず基礎的な研究として日本人の手掌の形及び大きさを測定した。

2. 今回は幼稚園児(3,4,5才)小学生, 中学生, 高校生, 大学生について、感光紙の上に手をおかせ、紫外線照射を行なって現像処理し、その第1～第5指, 手掌幅及び手掌長を計測した。

3. 手は、身体の発達に伴って成長する。男子では、14才頃、女子では12才頃までは直線的に伸びるが、それ以後は、ほとんど変化がみられない。

手の形は、男子では11才頃、女子では9才頃にきまる。